

# 文化プログラム実施に向けた国立文化財機構の取組

## 展覧会の実施

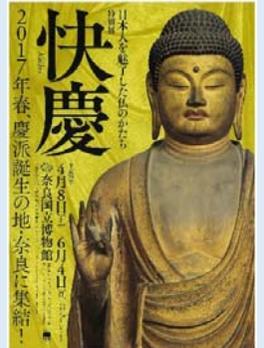
【概要】日本文化の魅力を発信する平常展及び特別展を企画・実施

### 平成29年度予定

○平常展：国立博物館4館で実施

○特別展：全15件を予定、以下代表例

- ・興福寺中金堂再建記念特別展「運慶」 (東京国立博物館)  
平成29年9月26日(火)～11月26日(日)
- ・開館120周年記念 特別展覧会 国宝 (京都国立博物館)  
平成29年10月3日(火)～11月26日(日)
- ・特別展「快慶 日本人を魅了した仏のかたち」(奈良国立博物館)  
平成29年4月8日(土)～6月4日(日)
- ・特別展「新・桃山展 - 大航海時代の日本美術」(九州国立博物館)  
平成29年10月14日(土)～11月26日(日)



夜間開館の実施等、ニーズを踏まえた開館時間の延長を実施

○外国人にとっての言語の壁を取り除くため、  
多言語(英中韓)での解説や音声ガイドを提供



音声ガイド

解説パネル

### 染織

日本の染織品としてまず思い浮かぶのは“着もの”であろう。着を飾る“着もの”には、形・色・文様など、あらゆる点に日本の美意識をうかがうことができる。その美意識は、この地に暮らす人々によって培われ、世界各地からもたらされる染織品によって磨かれたものである。この展示場では、日本に伝えられた作品を中心に、古代から近代までの多様な染織品を、技法・文様・機織など、さまざまな角度から知り敬って紹介する。

### Textiles and Costumes

Perhaps the first thing that comes to mind when one mentions Japanese textiles is the kimono. In the form, colors and designs of these garments worn for personal adornment one can find many aspects of Japanese aesthetics. This sense of beauty arose out of the native lifestyle and was further refined through textiles brought here from around the world. In this room a diverse range of ancient to early modern textiles that have been preserved in Japan are introduced from multiple perspectives, including their techniques, motifs, and functions.

### 印染纺织品

一箇列日本の印染纺织品、人们首先会想起“和服”，和服作为盛装，无论从其样式，还是从其色彩、花样，都能窥见到日本特有的审美观。这些审美观是生活在当地的人们逐步培育起来的。同时来自世界各地的印染产品也带来了一些刺激，使这些审美观变得愈发精致。这个展厅以展示日本传统作品为主，从技法、花样、功能等不同角度介绍自古代至近代的多样印染纺织品。

### 염색

일문의 일례한 물건이라고 하면 가장 먼저 머리에 떠오르는 것이 “기모노”일 것이다. 물론 일컫는 “기모노”에는 형태-색상-무늬 등 다양한 관점에서 일본의 미의식을 살펴볼 수 있다. 그 미의식에는 이곳에서 사는 사람들이 의해 키워지고, 세계 각지에서 건너온 일례한에 의해 연마된 것이라고 할 수 있을 것이다. 이 전시실에서는 일본에 전해진 작품을 중심으로 고대부터 근대에 이르기까지의 다양한 염색제품을 기법-무늬-기능 등 다양한 각도의 측면에서 소개한다.

## イベントの企画実施

【概要】展覧会と連動した日本文化の魅力を発信するイベントを多数企画・実施予定  
(29年度予定例)

- ・「留学生の日」(11月3日(金・祝)ほか: 国立博物館4館)  
日本文化理解の増進を図る外国人留学生向け事業。対象者入館料無料の他、ガイドツアーや茶会等の実施。
- ・「2017年国際博物館の日記念シンポジウム」(5月21日(日): 京都国立博物館)  
2017年の国際博物館の日を記念するとともに、2019年に予定されている ICOM(国際博物館会議)京都大会に向けたキック・オフ・イベントとして開催する。